

# 黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ジョン F. ジャーム  
 第 2550 地区ガバナー：栃木 秀麿  
 事務所：〒325-0826 宇都宮市西原町 142  
 宇都宮グランドホテル内  
 TEL：028-651-2550  
 FAX：028-651-2551  
 E-mail：[m2550@agate.plala.or.jp](mailto:m2550@agate.plala.or.jp)



会長：村山 茂 幹事：植竹 一裕  
 事務局：(株)植竹虎太商店内 植竹 一裕  
 〒325-0056 那須塩原市本町 6-5  
 TEL:0287-62-1123・FAX:0287-63-9228  
 E-mail：[k.uetake@coral.plala.or.jp](mailto:k.uetake@coral.plala.or.jp)  
 例会：毎週水曜日 12:30 - 13:30  
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

**第2741回 村山年度 第7回 会報 2016 8-24 司会 田中 徹 君**

**会長挨拶 村山茂会長**



8月もいよいよ終盤になりましたが、まだまだ暑い日が続いております。健康管理には充分ご留意ください。

さて、先程の委員会報告でもございましたが、去る8月20日(土) インターアクト年次大会が國學院大學栃木高等学校で開催されました。スポンサークラブは栃木ロータリークラブで、県内15校のインターアクトクラブが参加しました。



黒磯高等学校インターアクトクラブ

大会のテーマは「ことばの力～くじけない心を～」を掲げ、記念講演は栃木市出身の

詩作者で故柴田トヨ様の詩の朗読等が、蔵の街とちぎトヨさん一座及び一人息子の柴田健一氏により行われました。その作品のひとつが大会プログラムで紹介されておりました。

＜やさしいことば/もらったら/心に朝顔/咲きました＞ (「4行詩」柴田トヨ 作)

そして、「ことばには人を力づける不思議な力があります。しかし、ことばは薬になる一方で凶器にもなり得ます。何気なく言ったことばが人をどれだけ傷つけたか後になって気がつくことがあります。」、中間略、「心が変わればことばも変わります。ことばが変われば行動も変わります。さあ今こそ、くじけないで、「ことばの力」でふれあい(インターアクション)を推し進めていきましょう。」と結ばれておりました。

このテーマのもと、各インターアクトクラブから具体的な活動報告がなされました。主なものを紹介しますと、

- フィリピン医療奉仕活動への帯同、お手伝い
- 山林崩落地への桜の植樹
- 破損車椅子の回収・修繕及び海外寄贈
- フィリピン医薬品配布現地協力
- ネパール震災支援募金
- 継続的な東日本大震災被災者との交流支援(さんま祭り、餃子祭り)
- ポリオ撲滅支援のバザー開催
- 特養障害者・高齢者との交流支援
- 足尾の植樹
- エコキャップ回収

など、様々な活動実績が報告されました。黒磯高等学校は、学校周辺の清掃活動、高齢者施設での交流会、駅前キャンドルナイトへの参加、台湾研修旅行参加、エコキャップの回収等、活発な活動内容が報告されました。これからも益々の活躍を期待いたします。

出席報告 出席委員会 安藤讓治君

(出席規定の免除会員数5名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 8月24日	38(5)	31(4)	7(1)	83.8%		*
前回 8月10日	38(5)	34(4)	4(1)	91.9%	3人	100%

欠席の場合は当日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)  
 メール [gqvn2b29k@sound.ocn.ne.jp](mailto:gqvn2b29k@sound.ocn.ne.jp)

ところで、この日は高校野球甲子園大会の準決勝が行われており、作新学院と北海高等学校が勝ち残り、翌21日の決勝戦で作新学院が54年ぶりの全国優勝を勝ち取りました。

ここで、少し振り返ってください。栃木県予選での決勝戦の相手は、どこだったでしょうか？実は、國學院栃木高校だったのです。15対6で作新学院が甲子園出場となったのですが、ちなみに、2回戦で黒磯高校が負けた（13対0）茂木高校をやっつけたのは國學院栃木高校で点数は11対1でした。ですから、國學院栃木高校が甲子園に行っても、そこそこの成績を収めることができたのかなと思っております。

話が、脱線してしまいました。本日は、会員増強委員会の卓話です。先週もお願いしましたように、本年度計画は純増2名でございます。平山 博委員長を中心に、皆様のご協力をお願い申し上げ、会長挨拶といたします。

### 幹事報告 植竹一裕幹事



第7回幹事報告を致します。

- ガバナー事務所より、ハイライト米山が届きました。回覧しております。
- 公益社団法人被害者支援センターとちぎよりセンターニュースが届きました。回覧しております。
- 第40回RYLAセミナー受講生推薦並びにRYLAセミナー出席の依頼と6月12日に開催されました高校生RYLAセミナーの報告書が届きました。安藤譲治青少年奉仕副委員長にお渡ししました。

### 委員会報告 荒井昌一副会長



皆様こんにちは、委員会報告を受け付けますので、報告のある委員会は報告願います。

### ● ロータリー財団 秋間 忍君



ロータリー財団委員会からの報告です。

昨年度より準備を進めてまいりましたロータリー財団地区補助金による「那須塩原みるひいカップジュニアテニストーナメント」支援の件ですが、去る 8月21日（日）同大会の主催者、那須塩原テニス協会田川次雄会長、及びNPO法人日本スポーツ振興財団沼尻満男理事長に同席いただいて、村山茂 会長から優勝カップの現物「みるひいカップ」を直接手渡していただき贈呈式を無事済ませることができました。今日明日「みるひいカップ」を同大会場に飾ってジュニアテニスプレーヤーの熱戦が繰り広げられています。お時間がありましたら、くろいそ運動場テニスコートを覗いてみてください。



「みるひいカップ」贈呈式



優勝カップを手渡す村山会長



## ニコニコボックス 津久井誠二君



村山 茂君 もうすぐスイカの収穫です。

平山 博君 本日、会員増強委員会卓話です。宜しくお願いします。



## 卓話 会員増強委員会 平山博委員長



村山年度、会員増強委員長を務めさせて頂きます、平山博です。8月は、会員増強月間です、月間にちなんで増強について、お話し致します。

ロータリーと言う組織を維持、拡大するために地区でも、クラブにおいても毎年同じような内容の文言を使い、増強の呼びかけを行っておりますが、「一度言ったから」とか「そんな事言われなくてもわかっているだろ」で片づけてしまう、皆わかっているが、ほとんどの会員が動かない。実は私も、その一人であります。初めばかりでなく、引き続き頑張り通せば、少しは効果が出ているはずだったのでと、反省しております。

私の、常日頃の持論で話をさせていただきますが、失礼な話もあり、いろいろ反論もあるかと思いますが、そんな考えもあるのか、程度にお聞き流してください。

### ● まず始めに、会員数の動向について

ロータリーは201以上の国と地域に広がり、現在のクラブ数は34,558クラブ、世界のロータリー会員数は、1996年130万人が最高で、現在1,239,401人、日本では13万人が最高で

2016年3月現在89,504人、栃木県では2,732人が、最高で、現在1,740人です。当地区では微増との事、会員減少は日本(-21%)英国、米国が減少しております。会員増強は台湾(+49%)、インド、韓国の順で増加、先進国が減少し、発展途上国で増加しています。20年間連続減少、会員増強は日本のロータリーの緊急の課題とされています。

### ● 会員増強はなぜ必要か

1. 論ずるまでもなく、必要条項は、現状維持ができないからなど、いくつかありますが、究極はクラブ存続の為です。増強しなければいずれクラブは消滅する。大きなクラブはともかく、小さなクラブは、いずれではなく、間もなく、なくなります。
2. 会員数が少なくなると、クラブに活気がなくなると同時に財源的にも、人的にも、ロータリーの活動を縮小せざるを得なくなります。
3. 活動意欲も稀薄になり、悪循環の末、会員減少にさらに拍車がかかります。会員数は問題ではないという人がいますが、大問題だと思っています。

### ● 会員増強はいかに進めるか

言うまでもなく、クラブ会長、幹事、会員増強委員がやる気を見せる事です。

つまり呼びかける立場にある者が率先する。会員増強委員会を中心に会員増強チームを年度初めの6月末までに結成発足させる。構成メンバーは、青・壮・高層の各層から会員を選出する。増強必達目標を示す。各クラブの所在地域の現況、人口、経済活動状況等から、ロータリー会員数を設定する。我がクラブは、最大公約ロータリー会員数は55名と算定しました。これを強く意識して、目標必達に取り組むべきです。

増強チームは前期を決戦と考え、例会終了後や炉辺会議等では、増強推進会議を行い、更に、ロータリー会員全員に一人、必ず1名の推進をいただく。増強のための資料を整える。各種パンフの他、クラブ独自の勧誘の為のパンフを作成する。勧誘資料を幅広く配布すれば、クラブ広報にも役立つと考えます。

前文にもあります通り、増活は全会員参加で行なう、今の自分も先輩の推薦を受けて入会できたのであるから、これに感謝して、自分も最小限1人は推薦し入会させてこそ、これに報いると考えます。

増強対策を幅広く、青壮年・退職者・女性を選考し、さらに再入会候補者、元会員二世、会員夫人とする、特に、ご夫人・二世については、年会費等の優遇処置を考える

### ● ロータリーは質か量かの問題

会員増強に常に付きまとうものに、質か量

かの問題があります。ある時期拡大対策に転じ、その結果ロータリーの魅力を、著しく阻害する事に、なった事もあったと聞いております。

質にあまり拘らず、入会後に質の向上を目指せば、質は向上すると考えますが、今では、新入会員教育講座は行われておりません。

私の入会時は、先輩会員に2~3時間、ご指導を受けたことを記憶しています。

ロータリー会員は善良な成人で、職業上良い世評を受けている者の集まりであり、さらに自らを、切磋琢磨しながら品位を高め、向上心のある者が集う団体であるのが、本来のロータリアンであると思います。

入会候補者が良質かどうかの判断を、極めるのは難しいものがあり、それよりも、現会員の質が問われるべきものであります。内なる会員が良質でなければならないと考えます。

#### ● 会員維持について

転勤、移動、健康問題等、例会出席できない状況に依るものとは別にして、例会、行事等から徐々に遠ざかり、退会へと向かう会員を今までに見たり聞いたりしてきた通りです。そこで退会に至る、私の推測を例記してみます。

1. 例会に魅力を感じない（クラブ運営に問題があり）
2. ロータリーのステータス（社会的地位や身分）と、プライドが感じられない。
3. 楽しく話し合う会員が少ない
4. 欠席が続いて出席しづらくなる
5. 年会費の他に寄付など出費が高むようだ
6. その他

1、については私たちが大いに反省し、早急に改善に向けて努力をしなければなりません。具体的には例会の充実、特に卓話の充実が必要と思われます。

2、については会員全員で「襟を正す」つまり「心を正す」その心を姿に現す。ロータリーに来るときは、ネクタイ、RCバッチ、革靴を履いて正装で来いと、入会教育時にきつく言われました。当たり前の事と思っておりますが、時代が、これらを緩和してしまったようです。

#### ● 例会出席について

例会出席は、義務か権利かと言われますが、

どちらでもあると思いますが、例会出席が与えられた事への、感謝の気持ちがあるかどうかの方が、必要であります。都市部の大きなクラブでは人材も多く、卓話の内容も充実しており、例会そのものに魅力があります。

一方小さなクラブの多くは、常に会員増強、維持に四苦八苦しているため、新会員勧誘にも頼み込むかのような甘さがあり、選考段階でもこれはいかかかなと思われる人物でも、推薦者の気遣いなどで、外す勇気がなく「無理に勧められた！」と口外し欠席行為も自由奔放となり、不満を抱え退会へと向かう。こんな例が多いとの事、その他にも、新入会員も、私たちロータリアンも、周りに対して、多忙と見せかけている内に、自身も多忙なのだから、例会もロータリー活動も、無理しないと思ひ込むようになる。本物のロータリアンのほとんどは、一般人よりはるかに、日常多忙を極めている人は多い。つまり、些細な要件でもそれらを優先し、ロータリーを後回し、例会の時間を作ろうとしない。

最初に努力工夫すれば、多少、多忙な身でも、週の1時間の時間ぐらい誰にでもできそうなもの。要は「心」の問題なのであります。

私はたとえ例会内容がどうであろうと、多少居心地が良かろうが、悪かろうが、例会出席は当たり前、出来ない時はメイクアップする。それは生活のリズムとして皆が、身に付けていただきたいものであります。

#### ● 私流の総括は、

増強、維持とは、いかに一人でも多くの会員が、増活の為に動くかどうにかかっています。

同時に全会員が外から見ても、魅力的なクラブであると、常に自信を持つ事、そんなクラブを目指す為、魅力あるロータリアンとはいかにあるべきかを自身に問いながら、行動すべきであると思っております。

※これは、私が会長エレクト研修セミナーで、地区会員組織委員会、委員長の、川又茂三氏、（馬頭小川RC）の指導の元議論しあった内容を参照にしたものです。以上御清聴ありがとうございました。

8月24日欠席(敬称略)

秋葉秀樹・澤田吉夫・瀬尾紀夫・高木慶一  
檜山達郎・深町彰・福田逸男

前回 8月10日分メイクアップ(敬称略)

高木茂・神山徳久・藤崎善隆

次回例会

平成28年8月31日

担当 会長 ①クラブ協議会

#### 近隣クラブ例会日

- 火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028
- 水曜日 塩原/塩原カントリークラブ 0287-35-2211
- 木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

#### 近隣クラブ例会日

- 木曜日 大田原/ホテル龍城苑 0287-24-2525
- 木曜日 那須/ホテルエビナール那須 0287-78-6000
- 金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105